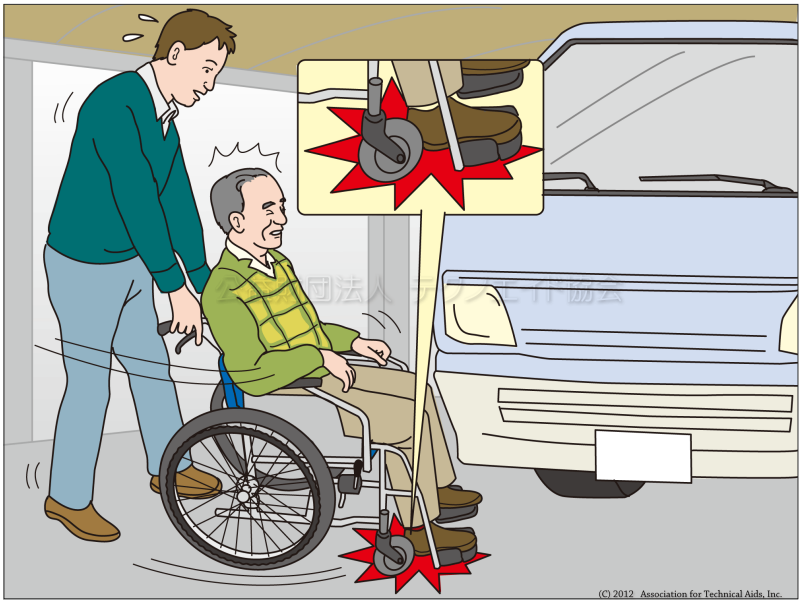
福祉用具ヒヤリハット情報

Case：123

かかととキャスタがぶつかり、ケガをしそうになる

場面の説明

レッグサポートを外しており、かかとの位置が後方になっていたため、かかととキャスタがぶつかった



利用シーン	移動
主な利用場所	その他
介護保険の種目	車いす
分類コード(CCTA95)	122103(介助用車いす)
介護テクノロジー	―
二次元バーコード	

解説

車いすは、このような事象は簡単には起こらないように設計されていますが、レッグサポートを外した状態では容易に発生します。接触による皮膚の損傷や、車いすの進行方向が定まらないことによる危険が考えられますので、レッグサポートは必ず装着した上で車いすを利用しましょう。

参考要因

人：介助者がレッグサポートの大切さを理解していない
人：死角になっている箇所に注意がいかなかった

管理：レッグサポートの管理を怠っていた

Copyright 2000-2012 Association for Technical Aids, Inc. All rights reserved.